

事業報告書

「ぼくたちの地球を守ろう」

第12回小学生・中学生作文コンクール

第6回小学生・中学生ポスターコンクール

第9回アジアこども会議

2002年8月作成

NPO法人地球こどもクラブ

www.c-earth.org

2002年度運営事業
「ぼくたちの地球を守ろう」作文・ポスターコンクール
運営組織図

【主 催】

NPO法人地球こどもクラブ

【後 援】

外務省 文部科学省 環境省 東京都 青森県
青森県教育委員会 NHK フジテレビ テレビ朝日
朝日学生新聞社

【協 力】

全日本空輸(株) (株)日本エアシステム

《海外》中国： 北京市教育委員会 对外合作交流処
韓国： ソウル特別市教育庁／ソウル特別市東京事務所
インドネシア： KEHATI/Bio Diversity Foundation
タイ： Ministry of Education
インド： Friendship Force of India
シンガポール： シンガポール大使館／Ministry of Education
マレーシア： Ministry of Education
フィリピン： フィリピン大使館

【協 賛】

東京電力(株)	三井物産(株)	富士ゼロックス(株)	(株)日立製作所
東京ガス(株)	(株)東芝	(株)ピー・エス	東北電力(株)
中部電力(株)	三菱重工業(株)	関西電力(株)	清水建設(株)
鹿島(株)	トヨタ自動車(株)	日本原燃(株)	日本鋼管(株)
松下電器産業(株)	松下通信工業(株)	(財)凸版印刷三幸会	(株)アルビオン
ユナイテッド・メディア(株)		北海道電力(株)	四国電力(株)
(株)乃村工藝社	全日本空輸(株)	(株)井田企画	(株)朝日クリエイティブ

【助 成】財団法人イオングループ環境財団

「ぼくたちの地球を守ろう」

第12回小学生・中学生作文コンクール 第6回小学生・中学生ポスターコンクール

＜2002年度募集ポスター＞

◆募集国： 9ヶ国
《日本・中国・韓国・インドネシア・タイ・インド・シンガポール・マレーシア・フィリピン》

◆募集期間： 2001年12月～
2002年4月15日必着《海外》
5月20日消印有効《国内》

◆募集方法： 全国小・中学校の内1000校選定
青森県の小・中学校全校告知
全国市町村環境局・図書館の内400ヶ所選定
地方紙はじめ各マスコミ約100社に掲載依頼



◆作品応募状況：

国名		作文部門			ポスター部門			合計
		全体	小学生	中学生	全体	小学生	中学生	
日本		1,148	149	999	643	422	221	1,791
海外		780			615			1,395
	中国	48			49			97
	韓国	92			87			179
	インドネシア	34			35			69
	タイ	6			87			93
	インド	52			30			82
	シンガポール	382			210			592
	マレーシア	161			114			275
	フィリピン	5			3			8
合計		1,928			1,258			3,186

イベント名： 「ぼくたちの地球を守ろう」

第12回作文コンクール及び第6回ポスターコンクール授賞式

開催日時： 2002年7月26日（金） 午後14:30～16:30

会場： ホテル青森 孔雀西の間

主催： NPO法人地球こどもクラブ

後援： 外務省、文部科学省、環境省、東京都、青森県、青森県教育委員会、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、朝日学生新聞社

協力： 全日空・日本エアシステム

入賞者： 第12回作文コンクール	合計 21名
国内受賞者	12名
海外受賞者	9名
第6回ポスターコンクール入賞者	合計 9名
国内受賞者	2名
海外受賞者	7名

イベントの内容： 授賞者への賞状及び記念メダル等の授与

賞及び受賞者数：	高円宮賞	作文	2名	ポスター	2名
	環境大臣賞	作文	2名	ポスター	2名
	青森県知事賞	作文	2名	ポスター	2名
	優秀賞	作文	2名	ポスター	1名
	地球こどもクラブ賞	作文	2名	ポスター	1名
	審査委員長賞	作文	2名	ポスター	1名
	特別賞	作文	9名		
(海外参加者 8 カ国)					
<u>総合計 30名</u>					

◆審査委員：	審査委員長	江森 陽弘 (ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員)
	審査委員	長沢 光男 (環境ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員)
		森 ミドリ (音楽家)
		アグネス・チャン (歌手)
		浅井 清恵 (中学校教諭)
		岡崎 友紀 (女優)
		内海 桂子 (漫才協団会長)
		東 てる美 (女優)
		浅野 能昭 (環境省環境教育推進室長)
ポスターコンクール審査委員長		飛鳥 童 (アーティスト)

コンクール受賞者

■ 作文部門 ■

高円宮賞

小学生部門
中学生部門

きむら ゆりえ
木村 友里恵
オウ ショウシュア
翁 暁 雪

「地球環境を守る私の役割」 宮城県 仙台市立荒町小学校 5年
「10年間」がもたらした光と影 佐賀県 東明館中学校 3年

環境大臣賞

小学生部門
中学生部門

おおや いたる
大矢 格
うえさか えいた
上坂 栄太

「文学に学ぶ環境一本を読んで考えよう」 山口県 由宇小学校 6年
「優しさと想像力をもって」 福井県 丸岡中学校 2年

青森県知事賞

小学生部門
中学生部門

うえさか のぶき
上坂 宣基
まつもと まさこ
松本 正子

「自然を思う気持ち」 福井県 長畝小学校 5年
「責任あるバトンタッチを！」 東京都 創価中学校 3年

優秀賞

小学生部門
中学生部門

かわい れいこ
河合 麗子
かくち まさゆき
福地 正之

「地球の家長としての責任を持って」 新潟県 粟生津小学校 6年
「記念すべき第一回目」 青森県 弘前市立第三中学校 3年

地球こどもクラブ賞

小学生部門
中学生部門

こばやし けい
小林 圭
おおや とおる
大矢 透

「カラスが笑う」 千葉県 北部小学校 6年
「一つのボールから考えたこと一全てに思いやりを」 山口県
高水高等学校附属中学校 2年生

審査委員長賞

小学生部門
中学生部門

こまき みずき
小牧 泉希
かわぐち なな
川口 菜々子

「地球へのおもいやり」 福島県 四倉小学校 4年
「地球を守ろう」 静岡県 西遠女子学園 中学2年

特別賞

中 国
韓 国

ジヨ ウシイ
徐 昕怡
チン・ユンシク

「雪のない冬」 北京十五中分校 2年生
「ヤンジェ川を散歩して」 ヨンドン中学校 2年

インドネシア
タ イ

タ・アユ・フイトリ・ア・ジョハ
タカ・カン・カン・デ・イ

「周りの環境を大事にしよう」 バングレンジョ小学校 6年
「地球を守ろう」 ウェル・ワナラム 小学校5年

シンガポール

リー・ウェイ・リアン・レオン「私たちの青くて、緑で、そして灰色（??）な惑星」
アングロ・チャイニーズ学校 中等部3年

シンガポール
マレーシア

チョウ・キウジュ・アイリーン「地球を救うこと」 中学2年生
ギアム・カイ・リン「木を救うために再生紙を使おう」
セコラア・メネンガ・ケバンサーン中学校 3年

フィリピン

キラ・ジョエル・L・フェルナンデス「私たちの惑星」
セイクリッド・ハート・ラーニング・センター 6年

フィリピン

アーレネ・M・アベラー「こんにちは、c t c しませんか?」
ネグロス・オキシデンラル・サイエンス中学校 3年

■ ポスター部門 ■

高円宮賞

小学生部門	ミッシェル・アヌシャ・ターソワルト 「地球を守ろう」	セ・ケグ 小学校6年生<マレーシア>
中学生部門	チャット・チトクラト	T 地球を守ろう」 スエン・サン中学3年生 SOENG SANG SCHOOL<タイ>

環境大臣賞

小学生部門	ジャ・マダン	「地球を守ろう」	ラグビー・シ・ジュニア・モーター小学校5年<インド>
中学生部門	たかおか あい 高岡 亜生	「美しい地球をいつまでも」	青森県 田名部中学校3年<日本>

青森県知事賞

小学生部門	チョウ ケイナン 張 聖南	「地球清掃委員」	北京市実践小学校4年生<中国>
中学生部門	かわぞえ 川副 まどか	「ぼくらのいばしょはどこ・・・？」	佐賀県 武雄中学校3年生

優秀賞

小学生部門	アルファン・ムハマト・ファキ	「地球を守ろう」	エレメンタリー小学校4年<インドネシア>
-------	----------------	----------	----------------------

地球こどもクラブ賞

小学生部門	アンスヒョン	「世界の人と共に守る地球」	ソウルザウン小学校5年<韓国>
-------	--------	---------------	-----------------

ポスター審査委員長賞

小学生部門	マスター・ジ ャガ アーダ・ツ・ツ	「もっと木を植えよう」	ラグビー・シ・ジュニア・モーター小学校5年<インド>
-------	-------------------	-------------	----------------------------

授 賞 式



- 日 時 2002 年 7 月 26 日 (金) 14:30～16:30
- 会 場 ホテル青森 3 階 孔雀西の間
- 主 催 NPO 法人地球こどもクラブ
- 後 援 外務省、文部科学省、環境省、東京都、青森県、青森県教育委員会、NHK
フジテレビ、テレビ朝日、朝日学生新聞社
- 協 力 全日空・日本エアシステム

* プ ロ グ ラ ム *

高円宮殿下ご入場

主催者代表挨拶＜地球こどもクラブ会長 石井吉徳＞

高円宮殿下お言葉

環境省大臣官房山田審議官ご挨拶

青森県佐藤出納張ご挨拶

授 賞 式

高円宮賞	作文 2 名・ポスター 2 名	高円宮殿下より表彰
環境大臣賞	作文 2 名・ポスター 2 名	山田環境省大臣官房審議官より表彰
青森県知事賞	作文 2 名・ポスター 2 名	佐藤出納張より表彰
優秀賞	作文 2 名・ポスター 1 名	石井会長より表彰
地球こどもクラブ賞	作文 2 名・ポスター 1 名	〃
審査委員長賞	作文 2 名	江森審査委員長より表彰
ポスター審査委員長賞	作文 1 名	石井会長より表彰
特別賞	作文 9 名	〃

高円宮両殿下ご退席

アジアこども会議



●日 時 2002年7月27日(土) 9:00～11:00

●会 場 ホテル青森 3階 孔雀西の間

●会議参加者 コンクール受賞者・青森県代表小学生

●イベントの内容

受賞者・青森県内の子供たちが環境問題を考える会議を開催し、その成果を「こどもアジェンダ21宣言」としてまとめ、環境省大臣官房審議官(環境大臣代理)に提出する。

●会議テーマ 『ごみの減量と再利用』

●司会進行 小林恵理氏

プログラム

高円宮殿下ご入場

主催者代表挨拶<地球こどもクラブ副会長 江口雄次郎>

環境省大臣官房審議官挨拶<山田審議官>

青森県環境生活部長挨拶<前田部長>

第9回アジアこども会議

こどもアジェンダ21宣言書とりまとめ・

環境省大臣官房審議官へ提出

高円宮両殿下ご退席

アジアこども会議内容

■ 会議テーマ「ごみの減量と再利用」



レクチャー：岡崎友紀先生

私は6年ぐらい前になりますけどゴミ・リサイクルをテーマにしたお芝居の台本・演出をしてお芝居を作りました。空き缶を集めて舞台の瘦地にして、メッセージをより強く打ち出そうじゃないかと舞台美術家の先生が考えてくださり、使用済みのスチール缶を1万5千個集め20数名の劇団員全員で洗いました。缶の中にはたばこの吸い殻や針や危険な物が入っている缶があり、かなり気を付けながら洗いました。これからもお芝居や、音楽にしたりしてメッセージを伝えて行きたいと思っています。

桜田さん：学校で廃品回収やクリーン作戦をやっています。

ゴミ拾いでは地域の人も手伝ってくれています。

岡崎先生：ゴミ拾いをしてどんなゴミが目立ちましたか？

桜田さん：たばこの吸い殻が多かったです。

岡崎先生：それは大人が捨ててますね～。

桜田さん：お菓子の袋とかもありました。

岡崎先生：ゴミ拾いを始めた前と後ではいろんな事に気が付きますよね。



タイのチャート君：学校で洗剤の箱を使って装飾品を作ってコンテストを行い美術の力を養うと共に古い物を再利用するという事で都市のごみも減るのではないかと考えています。

韓国アンスヒョンさん：アパート事に生ゴミを箱に集めて、箱がいっぱいになると農家に家畜のエサとして持っていく活動をしています。

翁さん：新入生歓迎会の時、生徒が飲んだ千個の牛乳パックをみんなで洗いアーチを作りました。

岡崎先生：洗うの大変でしたよね。いつも飲んでいる牛乳パックを洗ってみてどう思いました？

翁さん：いつも飲んでいるばかりで、リサイクル業者に任せてしまうので大変さが分かりました。

岡崎先生：やってみると大変さが分かりますよね。



レクチャー：森ミドリ先生

新しくできたTシャツ皆さんとってもよく似合っています。けれど何年も何年も着ていればその新しいTシャツも古くなってどうしようかしら？と考える時期が来ると思います。此处で着ているTシャツは意味のあるTシャツなので、どうか丁寧に丁寧に使って皆さんが大きくなってお父さん、お母さんになって、日本に行ってこんなことがあったんだよ。Tシャツを着て話し合ったんだといえるように大切にしていきたいと思います。

さてゴミの話です。ゴミには2つあります。焼却してしまう物と大きい物は遠くへ持って行って捨ててしまう。この2つがあります。遠くへ持っていくという物には、テレビや冷蔵庫などがあります。12年くらいたった冷蔵庫が寿命が来てしまって、動かなくなり、冷たい空気が通らなくなって修理屋さんに来てもらいました。モーターが壊れていることが分かり、直しても半年持つか5年もつか分からないと言われ、新しく買えばフロンガス対応という物が買えたんですが修理してもらいました。例え3ヵ月で寿命が尽きて3ヶ月寿命が延びたんだと思いたいと感じまして、今ではそれで良かったなと思っています。その壊れかけた冷蔵庫はおそらく大きなゴミとなってしまったかも知れない。何だか今とっても喜んでいるみたいで、私は一つの命がまだ家にある、一生懸命働いてくれておじいちゃんになってしまったけれど頑張ってくれているな、物にも命があるんだと愛おしさを持ってゴミは減るのではないかと思います。それから三年たった冷蔵庫時々元気？と声をかけます。そういう想いも大切じゃないでしょうか。

ゴミに対してもありがたいという気持ちを持つことが減量、再利用につながると思います。

松本さん：ボロボロになったバスタオルをもう一度縫ってバスマットに使ったり、牛乳パックも開いてまな板代わりに使っています。小さな事なんですけど地球を守ることにつながるのこれからもつづけていきたいです。

森先生：それは家族みんなでおこなっているのですか？

松本さん：主に料理をする母と私とでおこなっています。

森先生：大変良いことです。これからも続けて下さいね。



インド ジアマダンさん：台所に野菜クズ・紅茶殻などを別にするポットを置いておきます。しばらくたったら、土を掘ってそれを埋めます。数週間後にはそれがまた土になっています。

シンガポール アイリーン：学校のゴミ箱はプラスチックは土に戻らないので、紙でできたゴミ箱を使っています。家でもペットボトルの再利用の方法を家族で話し合っています。



レクチャー：東てる美先生

一つの物で、再利用をするアイデアをどんどん持っていくと、リサイクルという意識がもっと高まっていくのではないかと思います。一つの物でもこれは何に使えるんだろう？と考えることはものすごく楽しいことで、私は大好きなんです。韓国に旅行に行ったときに、ホテルの洗面所に歯ブラシが置いてありませんでした。張り紙に政府の命令で歯ブラシは置いておりません。それはすばらしいことだと思います。歯ブラシは一度使ったら捨ててしまうわけですから、毎日使ったら大変な量になるわけです。国でちょっとした事を始めていくと、最終的にはものすごい大きい物になっていくと思います。

タイ ナタカン君：現在バンコクでは、日常生活でプラスチックの袋をたくさん使っています。それを捨てることで下水口につまり洪水になることがあります。そうならないためにも昔から使っているカゴであるとか自分で持ってきた袋を使ってなるべくプラスチックの物を使わないようにすれば、ゴミも洪水もおきなくなるので自分もなるべく使わないようにしている。

インドネシア イダさん：一家族一人百ルピアを取りゴミにかかる費用として、お金を出しあってゴミを減らしている。

東先生：便利なことと無駄なことは、裏表だと思うんですけど普通に使っていてもこれは代用できるのではないかという物があれば教えて欲しいのですが？

木村さん：買い物に行くときプラスチック容器の物はなるべく買わないようにしています。例えばカップラーメン・コンビニのお弁当などです。

シンガポール リオン君：私の家ではビニール袋は一度だけでなく、くり返し使うようにしている。学校では印刷するときに紙を裏表使うようにして、紙を無駄にしないようにしている。

大高さん：私の住んでいる岩崎村は、日本一星空が綺麗に見える所といわれています。それは空気がとても澄んでいるからだと思います。海にゴミ拾いに行ったとき多くのゴミが落ちていました。このままでは美しい星がみえなくなってしまう。だから皆さんで力を合わせてごみをなくしたいです。



翁さん：広告やダイレクトメールなどは、業者の一方的な物であり、私たちがもらっても捨ててしまう物がほとんどなので、ポスターやインターネットで無駄のなく告知する方法に切り替えて欲しいと思います。

東先生：ほとんど見ないものばかりですものね。紙の無駄遣いですね。

■ 青森県庁で行っているゴミ減量の取り組みについて

青森県環境政策課白鳥さん



ファイルを使つての実演レクチャー



白鳥さん：県庁ではISO14001を行っております。ISO14001というのは自分たちで省エネ・省資源の方法を考えて実行することです。県庁ではお昼休みに電気を消すとか、電気ポット、コーヒーマーカーは使用できません。また紙の関係では、裏表使うようにしています。そして紙を裏表使ったものをリサイクル業者にだしています。片面しか使っていないものはゴミの方では回収しません。またペットボトル・缶の分別も行っております。

こういう事を2年前から取り組んでいます。が、行う前と比べて約30%紙の使用量が減りました。

そしてごみの量は55%減りました。使えなくなったファイルも部品を外して、

裏返しにして部品を再び付けてもう一度使います。送られてきた封筒なども裏返して再び封筒にして使用しています。このようなことを県庁では取り組んでおります。

こどもアジェンダ 21 宣言まとめ&署名



アジア8ヶ国の子達、森先生、東先生、岡崎先生と共にモノに対する再利用のあり方を考え、こどもアジェンダ21宣言書として、みんなでスローガンを作りました。アジェンダの色紙には参加した全員の署名が記され、代表して中学生作文部門で高円宮賞を受賞した翁曉雪さんにスローガンを書いてもらいました。

森先生が子供たちのいる各テーブルをまわり意見を取りまとめ今年の「こどもアジェンダ21宣言書」が完成いたしました。

こどもアジェンダ 21 宣言書

「モノにも命がある 最後のゴミとなるまで工夫し、考え、再利用しよう」

一人ひとり一日一日心がけていこう 地球の笑顔は私の笑顔」



各国の代表から、山田環境省大臣官房審議官へ

《環境省大臣官房山田審議官のお言葉》

本日は一時間半大変よいディスカッションを戴きましてありがとうございます。ほくらも今日の会議を活かしていろんな事を取り組んで行きたいと思います。環境問題のみならず経済のあり方、社会的側面の再構築を今しているところです。皆さんが大きくなるまでそのようになっているようにほくらも努力しますが、みなさんの継続的な努力、これも大事なので期待しております。

懇 親 会



●日 時 2002年7月26日(金) 16:45～17:45
●会 場 ホテル青森 3階 孔雀東の間

プログラム

山田環境省審議官、佐藤青森県出納長、石井会長、他理事懇親会場へ
高円宮殿下 懇親会会場へご案内
挨 拶 <井田専務理事>
乾 杯 <内海桂子理事>
ご 飲 談
閉会の辞
高円宮殿下ご退席 控室へご案内
閉会・解散



授賞式他イベントご出席者

高円宮殿下（コンクール名誉総裁）
 木村 守男 青森県知事
 山田範保環境省大臣官房審議官
 佐藤立治青森県出納長
 前田 みき 青森県環境生活部長

地球こどもクラブ会長	石井 吉徳	東京大学名誉教授／富山国際大学教授
〃 副会長	那須 翔	東京電力株式会社
〃	[代理]	取締役立地地域本部副本部長 伏見 健司]
〃 副会長	小林 陽太郎	富士ゼロックス株式会社
〃		[代理 小林記念財団事務局長 椎野 彰]
〃 副会長	江口 雄次郎	環境 NGO アジア環境連帯代表
〃 専務理事	井田 敏夫	株式会社井田企画 社長
〃 理事	愛知 絢子	元衆議院議員愛知和男令夫人
〃 理事	田中 豊蔵	元朝日新聞論説主幹
審査委員長・理事	江森 陽弘	元朝日新聞編集委員
審査委員・理事	長沢 光男	環境ジャーナリスト
〃 〃	森 ミドリ	音楽家
〃 〃	岡崎 友紀	女優
〃 〃	内海 桂子	漫才協団会長
	東てる美	女優
審査委員	浅野 能昭	環境省総合環境政策局 環境教育推進室長

環境省	井上 直子	環境省環境教育推進室 室長補佐
協賛企業	日塔 憲夫	松下電器産業株式会社 社会文化部副参事
	兼平 慎	株式会社乃村工藝社 文化パブリック開発第2部部長

国内入賞者	12名	海外入賞者	13名
青森県小・中学生	14名	海外引率者	7名
通訳者	7名	入賞者家族	15名
マスコミ関係者	若干名		

環 境 視 察

- 日 時 2002 年 7 月 26 日 (金)
- 見学場所 三内丸山遺跡、ねぶたラッセランド
- 参加者 海外入賞者 13名 通 訳 者 7名
 国内入賞者 12名 海外引率者 7名

海外入賞者が青森到着後ホテルにて国内入賞者と合流し三内丸山遺跡へ出発しました。
ガイドさんの案内で竪穴式住居や大型の柱建物跡の詳しい説明の元、初めて会った国内外のお友達と交流が始まりました。

その後、ねぶたラッセランドに向かい1週間後に開催される制作中のねぶたを見学し特に海外の子供たちは初めて見る迫力あるねぶたに大喜びでした。

三内丸山遺跡



ねぶたラッセランド集合写真

